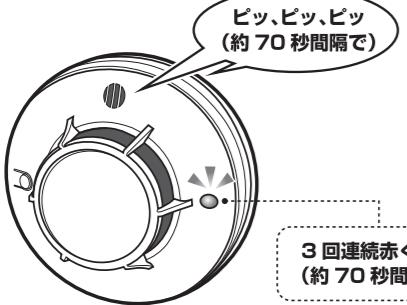


## ■故障を自動でお知らせ機能（自動試験機能）

### 故障を検知した場合

本警報器は、一定時間ごとに故障をしていないかどうかの自動試験を行います。故障が検知された場合、故障警報音「ピッ、ピッ、ピッ」音が約70秒間隔で鳴ります。また、作動ランプ（赤）は約70秒間隔で3回連続点滅します。警報停止（テスト）ボタンを操作すると、故障警報音と作動ランプ（赤）は一時的に約4時間半停止します。

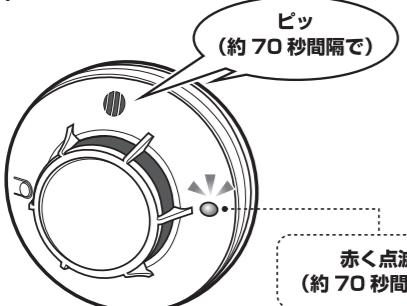


**注意** 故障状態では煙を正しく感知できず、火災警報器作動もいたしませんので、速やかに弊社「お客様相談室」にご連絡ください。

## ■電池切れを自動でお知らせ機能（電池切れ検知機能）

### 電池切れを検知した場合

電池寿命（約10年間）が近づくと、電池切れ警報音「ピッ」音が約70秒間隔で鳴ります。また、作動ランプ（赤）は約70秒間隔で点滅します。警報停止（テスト）ボタンを操作すると、電池切れ警報音と作動ランプ（赤）は一時的に約4時間半停止します。



**注意** 電池切れ警報音は約1週間前後継続します。電池寿命は約10年間を想定していますが、お客様のご使用環境により短くなる場合があります。

## 7. お手入れおよび定期点検のしかた

煙感知部の表面にホコリやクモの巣がつくと、煙を感知しにくくなりますので、1年に1回以上は以下のようない方法で、お手入れをお願いします。



**注意** お手入れの際は、高所作業となり、転倒や落下などの危険がありますので、足場の確保など安全に作業できるようにご留意ください。

●布で煙感知部のホコリやクモの巣を取り除いてください。  
●表面の汚れは、布に水または石鹼水を浸し、よく絞ったもので拭き取ってください。

※なお、シンナー・ベンジンは表面を傷めますので絶対に使わないでください。

●お手入れ後は、『6. 警報器のご使用方法』の『■作動の確認（初回テストおよび定期点検）』にしたがって定期点検を行ってください。



シンナー・ベンジンはX

## 8. 故障かな？と思ったら

テストなどで、故障かな？と思ったときは、修理やサービスの依頼をされる前に、下記の表をご参照のうえ、各種点検および処置をしてください。

状 態	点 検	処 置
火災の煙ではないのに警報が作動する。または、警報音が鳴り止まない。	警報器の近くで調理の水蒸気や煙が滞留していませんか？	水蒸気や煙などを取り除いてください。
	多量の殺虫剤を使用していないませんか？	ドアや窓を開けて換気してください。
	煙の感知部にホコリなどがついていませんか？	掃除機などでホコリを取り除いてください。
作動テスト時、警報停止（テスト）ボタンを押し続けても作動しない。	専用リチウム電池のコネクタが外れていませんか？	『5. 警報器の取扱方法』の②にしたがい、正しく電池を装着してください。
「ピッ」という音が鳴り、作動ランプ（赤）が点滅する。	—	電池が消耗していますので新しい専用電池に交換する必要があります。設置後約10年経過した場合は、警報器本体の交換が必要です。
「ピッ、ピッ、ピッ」音が鳴り、作動ランプ（赤）が点滅する。 電池を正しく装着しても、新しい専用電池に交換（10年到来前）しても正常に作動しない。	—	警報器本体が故障しているので、お買い求めの販売店ないし弊社「お客様相談室」までご連絡ください。

## 9. アフターサービス

### ■保証書

保証書はこの『取扱説明書』に付属しております。必ず販売店名・お買い上げ日などの記入をお確かめのうえ、保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

### ■保証期間中に修理依頼される場合

保証期間は、お買い上げ日から1年間です。『取扱説明書』の『8. 故障かな？と思ったら』を参照のうえ、原因をお調べいただき、それでも異常があるときには、保証書記載の販売店もしくは、弊社「お客様相談室」にご連絡ください。

### ■保証期間経過後に修理依頼されるとき

修理によって警報器の機能が満たされる場合には、ご要望により有料での修理をいたします。

### ■修理依頼されるときに必要な事項

ご住所・お名前・お電話番号・商品名・商品番号・お買い上げ日・故障または異常の内容。

### ■修理不能な場合

警報器自体が水や油などの液体に浸かったり、焼損している場合には修理不能ですので、新しい警報器をご購入ください。

### ■アフターサービス

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点がありましたら、保証書記載の販売店もしくは、弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。

## 10. 廃棄する場合

交換後の火災警報器および電池の廃棄につきましては、各自治体で定められた廃棄方法にしたがってください。

## 11. 製品仕様

電源	専用リチウム3V電池 (FDK:CR17450E-R) (FDK:CR17450E-N)	電池寿命	約10年間 <sup>*</sup> <small>*使用環境により短くなる場合があります。</small>
感知方式	煙式（光電式）	音量	70dB以上/1m
試験機能	自動試験機能	寸法	Φ99×56.5mm <small>(取付ベース板を含む)</small>
火災警報音	「ビー、ビー、ビー、ビー、ビー」音	質量	約134g(電池を含む)
故障警報音	「ピッ、ピッ、ピッ」音 (推奨警報音)	使用温度範囲	0°C~40°C(結露なきこと)
電池切れ警報音	「ピッ」音(推奨警報音)	設置場所	壁面・天井面



日本消防検定協会鑑定品

CENTURY

## 取扱説明書 保証書つき

### 住宅用火災警報器

- 光電式・電池方式・2種
- 自動試験機能付
- 警報音式

### けむりの見張り番 / けむりの見張り役

品番:SG-FS3L



本警報器をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用の前に必ず取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。なお、この取扱説明書は保証書も兼ねていますので、大切に保管してください。

FS-H-M-03Ad

## — 保証書 —

■住宅用火災警報器「煙感知式」(光電式・リチウム3V電池方式)  
■商品名:「けむりの見張り番」/「けむりの見張り役」 ■商品型番: SG-FS3L/SG-FS3L-K

保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 1年間
お客様	お名前 ご住所 〒 お電話番号 みほん
販売店*	店名 住所 〒 電話番号

\*販売店さまへ: 販売店欄の必要事項は必ず記入してからお客様へお渡しください。

### ■保証規定

- 有効保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
- 正常なご使用状態で万一、故障または異常な状態が発生した場合には、お買い上げになつた販売店あるいは弊社「お客様相談室」に本保証書と現品を添えて修理をご依頼ください。保証書の記載事項にもとづき「無償修理」又は「無償交換」をいたします。
- ただし下記の場合には保証期間内でも有料になりますのでくれぐれもご注意ください。
  - ご使用上での誤り、および不当な修理や改造による故障や損傷
  - お買い上げ後の落下や持ち運びの際の故障や損傷
  - 火災・地震・水害などの天災地異などの不可抗力や異常電圧による故障や損傷
  - お買い上げ年月日・お客様・販売店欄に記載が無い場合や字句が書き換えられた場合
  - 故障や損傷原因が本警報器以外に起因する場合
  - 出張サービスを行った場合の出張料
- 保証書は再発行いたしません。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

株式会社センチュリー  
www.century.co.jp

〒110-0016 東京都台東区台東 2-28-5  
受付時間：午前10時～午後5時 (年中無休)

お客様相談室  
フリーダイヤル 0120-018-581  
または、TEL: 03-5818-7049

## ■付属品

※万一、下記付属品が揃っていない場合は、弊社「お客様相談室」までご連絡ください。

- 取扱説明書兼保証書（本書）……………1枚
- 取付用ネジ……………2本
- 石膏ボード用取付プラグ……………2本
- 専用リチウム3V電池……………1個

## 1. ご使用になる前に

- 本警報器は、煙を感じて作動するものであり、火災自体を防止するものではありません。火災などによる損害につきましては責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 本製品は、住宅用火災警報器の合格品ですが、消防法に規定されている自動火災警報設備の代用はできませんので、それらの用途にはご使用いただけません。
- 本警報器を正しくお使いいただくために、注意事項の表示は下記のようになっていますので、内容をよく理解してから取扱説明書をお読みください。

※誤った設置や取り扱いによる危害や損害の程度を以下の表示で示しています。

	この表示を無視して取り扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合や、警報機能の一部に重大な悪影響を与える可能性がある場合を表しています。
	この表示を無視して取り扱いを誤ると、使用者が軽症などの傷害を負うないし、物質的損害のみの発生が想定される場合や、警報器に悪影響を与える可能性がある場合を表しています。

## 2. ご使用上の注意

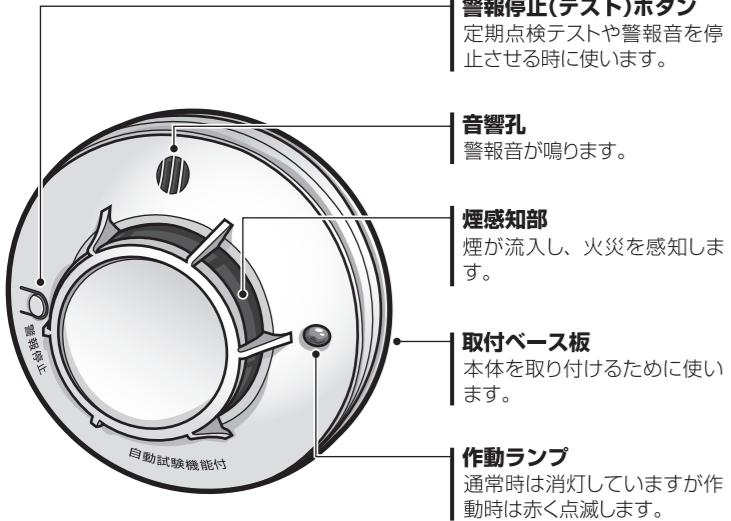
### 警告

- 本警報器は絶対に分解・改造・異物の混入や挿入をしないでください。
- 本警報器を落させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 本警報器を設置する際は、必ず警報停止（テスト）ボタンを押して警報音が聞こえる範囲を確認し、必要に応じて設置場所を変更するか、設置箇所を増やすなどの対応をとってください。
- 本警報器はガス爆発や薬品による爆発的な火災などの場合は、作動しないことがありますので注意してください。
- 下記の場合は、火災が発生し火災警報音が警報しても気付かない、あるいは、避難できないことがありますので特に注意してください。
  - イヤホンをつけたり、交通・T.V・ステレオなどで騒音が大きい場合。
  - 過度な飲酒や、薬の服用後に就寝した場合。
  - 寝たきりのご老人や、幼児だけでの留守番時や、退避経路に荷物がある場合。

### 注意

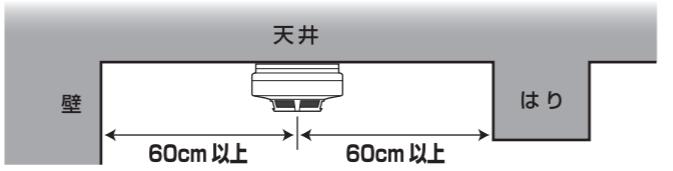
- 本警報器は室内専用ですので、屋外でのご使用はおやめください。
- 本警報器に耳を近づけ警報音を聞かいでください。聴力障害の原因となる場合があります。
- 本警報器は設置場所の近くでの煙に作動しますので、火災発生場所から遠い設置場所では作動しない場合があります。
- 本警報器は火災以外の煙（殺虫剤・炊飯器・加湿器・ヘアスプレーなど）により誤作動することがあります。
- 必要以上の力で警報停止（テスト）ボタンを押さないでください。落下や故障の原因となります。
- 1週間前後留守にした後は必ず正常作動するか定期点検を行ってください。

### 3. 各部の名称とはたらき



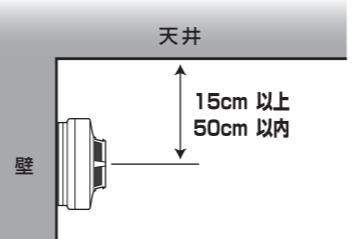
#### 天井に取り付ける場合

壁から 60cm 以上離した位置に取り付けてください。また、はりがある場合には、はりからも 60cm 以上離した位置に取り付けてください。



#### 壁面に取り付ける場合

天井より 15cm から 50cm の範囲内に取り付けてください。

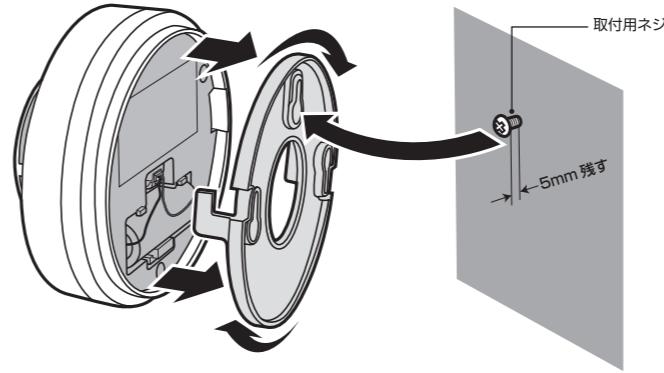


④ 下記参照のうえ、各取付場所に取り付けを行ってください。

#### 壁面に取り付ける場合

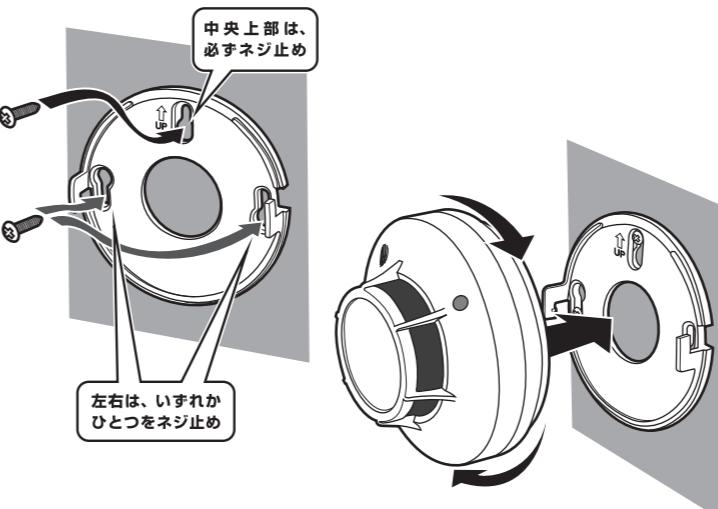
##### 引掛けフック穴を利用した取り付け

取付ベース板を右方向にまわして、警報器本体に装着してください。次に補強材などが通っている平らで丈夫な壁面(天井面より 15cm ~ 50cm 範囲内)に、付属の取付用ネジ 1 本を約 5mm 残すように、途中まで締め込んでください。警報器本体に装着した取付ベース板の引掛けフック穴を約 5mm 残したネジに引掛け、警報器本体と壁面がしっかりと固定されるように取り付けてください。



##### 取付ベース板を利用した取り付け

補強材などが通っている平らで丈夫な壁面(天井より 15cm ~ 50cm 範囲内)に、取付ベース板を下左図のように、中央上部のネジ穴(引掛けフック穴)は取付用ネジ 1 本で必ずネジ止めし、左ないし右のいずれかのネジ穴を、残りの取付用ネジ 1 本でネジ止めし、2箇所をネジで強く締め込んでください。次に取付ベース板と警報器本体を時計回りで、上から下の方向に「カチッ」と音がするまで、まわして装着してください。



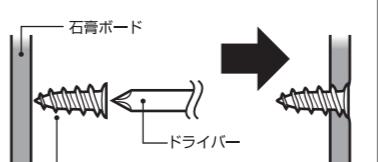
#### 天井面に取り付ける場合

天井面に警報器を取り付ける場合は、前述の『取付ベース板を利用した取り付け』を参照していただき、取付ベース板を天井の2箇所に、付属の取付用ネジ2本(中央上部のネジ穴は必ず、左ないし右のいずれかのネジ穴)で強く締め込んで固定させた後、警報器本体を右方向にまわしながら、「カチッ」と音がするまで装着してください。なお、天井に取り付ける場合の位置などは、『4. 警報器の取付場所』の図を参照してください。

#### 壁面ないし、天井面の石膏ボードに取り付ける場合

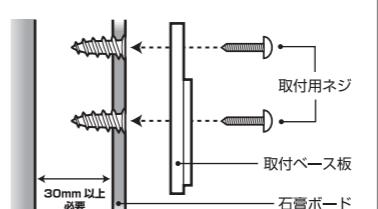
##### ① 石膏ボードに、石膏ボード用取付プラグを取付ける。

ドライバーを使い、先端が食い込むくらいに、しっかりと突き刺してください。



##### ② 取付用ネジ 2 本で取付ベース板を取り付ける。

前述の『取付ベース板を利用した取り付け』を参照してください。なお、石膏ボードと内部空間の間隔は 30mm 以上必要です。

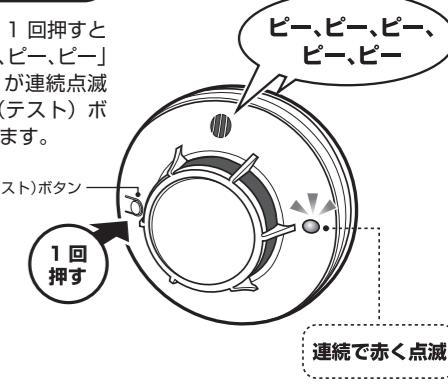


### 6. 警報器のご使用方法

#### ■ 作動の確認(初回テストおよび定期点検)

##### テスト機能を使って確認する場合

警報停止(テスト)ボタンを 1 回押すと火災警報音「ビー、ビー、ビー、ビー」音が鳴り、作動ランプ(赤)が連続点滅すれば正常です。警報停止(テスト)ボタンをはなすと作動は止まります。



または、タバコを吸う方がいらっしゃれば。。。

##### 実際に煙を入れて確認する場合

火災警報器の煙感知部に、吸い込んだタバコの煙を直接に数回強く吹き込むと、煙が流入し、感知した結果、火災警報音が鳴ります(『テスト機能を使って確認する場合』を参照)。なお、煙感知部内にタバコの煙が残ったままだと、火災警報音が鳴り続けますので、息を吹きかかるか掃除機などで煙を取り除くようにしてください。



#### ■ 火災警報機能

##### 火災の場合

火災により煙が発生し、火災警報器の煙感知部が煙を感じると、火災警報音「ビー、ビー、ビー、ビー、ビー」音が鳴り、作動ランプ(赤)が連続点滅します。火元を確認し、119番へ通報するなど、適切な処置をするとともに、火災状況に応じて速やかに避難してください。



##### 火災警報音を止めるとき

火災による煙が無くなれば、火災警報音は自動的に停止するとともに、作動ランプ(赤)も消灯します。警報停止(テスト)ボタンを操作すると、火災警報音と作動ランプ(赤)は一時的に約 6 分間弱停止します。煙感知部の内部に煙が残っている場合は、約 6 分間弱後に再び火災警報作動をします。

#### 以下の理由により

#### 「火災以外でも火災警報作動をする場合がございます」

- タバコや線香などの煙を直接煙感知部に流入させたとき。
- くん煙式・過熱蒸散式の殺虫剤やヘアスプレーなどを近くで使用したとき。※大量の煙が発生するときは、いったん煙感知部にカバーをしてください。使用後は速やかにカバーを取り外してください。
- 調理煙や水蒸気などがかったとき。
- 煙感知部にホコリや虫などが入ったとき。
- 警報器本体内部が結露したとき。

##### 注意

室内の換気など火災警報の誤作動の原因を取り除けば、火災警報作動は止まります。なお、頻繁に上記のような場合があると、電池の寿命が短くなることがあります。

### 4. 警報器の取付場所

#### ■ 警報器の取付場所

□ 寝室 □ 階段の踊り場 □ 居間 □ 廊下  
□ 乳幼児・お年寄り・ご病気の方がいる部屋

#### ■ 警報器の取付位置

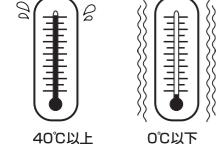
- 警報器の警報停止(テスト)ボタンが操作しやすい位置に設置してください。
- 照明器具から約 50cm 程度離れた位置に設置してください。
- 換気扇やエアコンの吹出口から 1.5m 以上離れた位置に設置してください。

##### 注意

次の場所への設置は火災による煙を正常に感知できないため誤作動の原因となります。

● 浴室や浴室出入口付近など、水や水蒸気がかかる場所。  
● 調理場や車庫など火災以外の水蒸気や煙が発生する場所。

● 取付場所の温度が 40°C を超える場所または、0°C を下回る場所。  
※特に冬場の朝などは低温となり電池寿命が短くなったり、電池切れ警報の誤報が鳴る場合がございます。

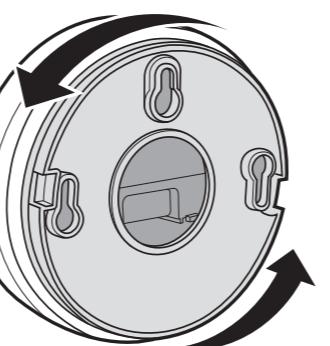


● 照明器具から約 50cm 以内の場所やタンスなど背の高い家具の真上。

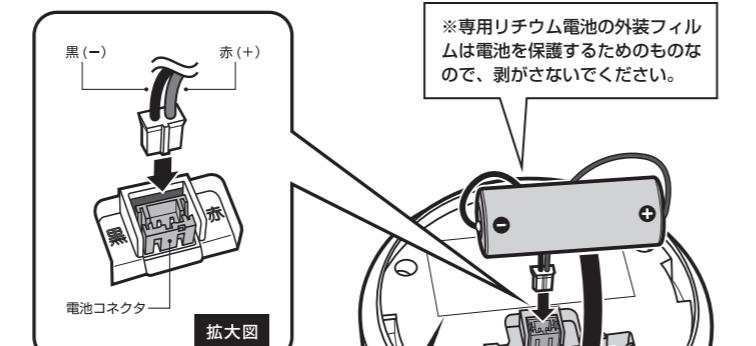
● 屋外(本警報器は室内専用です)。

### 5. 警報器の取付方法

- 取付ベース板を左方向にまわして、警報器本体から外してください。



- 付属する電池のコネクタを警報器本体の電池コネクタに奥まで差し込み、本体に収納します。コネクタには端子があり、逆向きには接続できません。無理に逆接続するとコネクタがショートし、電池が加熱するなど、故障の原因となります。また差し込む際にはドライバーなど金属製のものは使用しないでください。



- 設置した年月日を警報器本体のシール部分に油性ペンなどで記入してください。

設置日 年 月 日